

ライフヒストリー

年齢	立場	ヒストリー・エピソード	満足度	振り返り
20	大学生	フランス文学専攻 ワインに出会い、お酒好きになる	◎	
22	大学生 4年生	<就職活動>	△ ↓ ○	自身の将来ビジョンが見えず、やる気スイッチもなかなか入らず出遅れる。 「文系だから事務」と勝手に絞り込んで活動していたが上手くいかず。SEは文系でも可能と知り、IT業界を見始め現在の会社から内定をもらう。不安だったが、アルバイト先の上司に「なんでもやってみないと分からないよ」と言われ入社を決める。
23	社会人： 新入社員	<入社>	△	新人研修のIT教育についていくのが大変で配属先も決まらず不安だった。
		<人事グループへ配属>	◎	やることが明確になってやる気もアップ。初めて出会う社員と話をしたり、初めての仕事に携わったりすることによって自分の世界が広がっていくことが嬉しかった。
	社会人： 新入社員～現在	<気の合う同期との出会い>	◎	1年目は毎週水曜日に必ずファミレスに集まっておしゃべりして息抜き。以降も計画年休を使って一緒に海外旅行や温泉旅行に行き、現在は一番頼れるママ友になっている。
	社会人： 新入社員	<初めての会社説明>	◎	30人程の学生が来社した際、会社説明を行った。あがり症で人前で話すことが大嫌いだったが、無事説明をすることができ、引率の先生からもお褒めの言葉をいただいた。なんでもやればできると自信につながった。

25	社会人： 入社3年目	<新卒採用担当としての活動>	◎	私の説明を聞いて入社したいと思ったと学生に言われたときは非常に嬉しかった。人前に立って話をするにより自信もついた。数多くの就活生と出会ったが、様々な考えや生き方に触れ、逆に私が学生から学ぶことも多かった。
27	社会人： 入社5年目 一番の転機	<労務管理業務を一人で担当>	◎	ヘルパー社員だった先輩が育休に入ったことにより労務管理業務を一人で行うことになった。頼る人がいなくなり大変だったが、仕事に対する責任感が増し成長のきっかけになった。
		<新卒採用の企画を担当>	◎	母集団形成から内定承諾までの採用フローの企画から実施までの業務を担当した。自分なりに情報収集して先輩の意見を聞きながら形にしていくことの大変さを感じながら、毎日朝から夜遅くまで仕事に没頭した。大変だったはずなのに毎日充実していた。
29	社会人： 入社7年目	<結婚>	◎	家事は分担して出来る方が行かうスタイルだったため、生活はあまり変わらず。遅く帰っても温かいご飯が用意されているのが嬉しかった。効率的に業務を行い残業をせず、早く家に帰ることがモットーになった。年末調整も残業なしで完結できた。
31	社会人： 入社9年目	<出産・育休（1年間）>	△	子供はかわいいけれど、子育てが想像以上に大変だった。育休まで忙しく仕事をしてきたため、仕事を休んでいる間、社会から置いてかれているような気分になり、落ち込むこともあった。自身の休職中に2人もグループに人が入ったため、復帰しても私は不要なのではといった漠然とした不安があった。

32	社会人： 入社10年目	<復帰>	△	<p>仕事をしなくて40分間の短時間勤務を利用して復帰した。最初は保育園からの呼び出しで思うように仕事ができず不安だった。少しずつ新たな役割を与えてもらい、ペースを取り戻しながら仕事と家庭の両立を進めた。</p> <p>育休中と同じペースでご飯を食べていたら人生最高に太ってしまった…</p>
35	現在	<フルタイムで勤務>		<p>急に休んでも大丈夫なように、業務の見える化や前倒しで業務を進めることが習慣になった。なるべく残業はせず、帰ったら子供と遊んだり自分の時間を持てるよう、効率的に仕事を進めながら成果を上げることが私のモットーである。</p>
今後の目標		<p>教育担当という新たな分野で力をつけて、人事のことならなんでもできる・知っている人材になる。また、子供がいても女性が自信を持ってキャリアを積んでいけるよう、これから結婚・出産を控える後輩の良いモデルになりたい。</p>		